

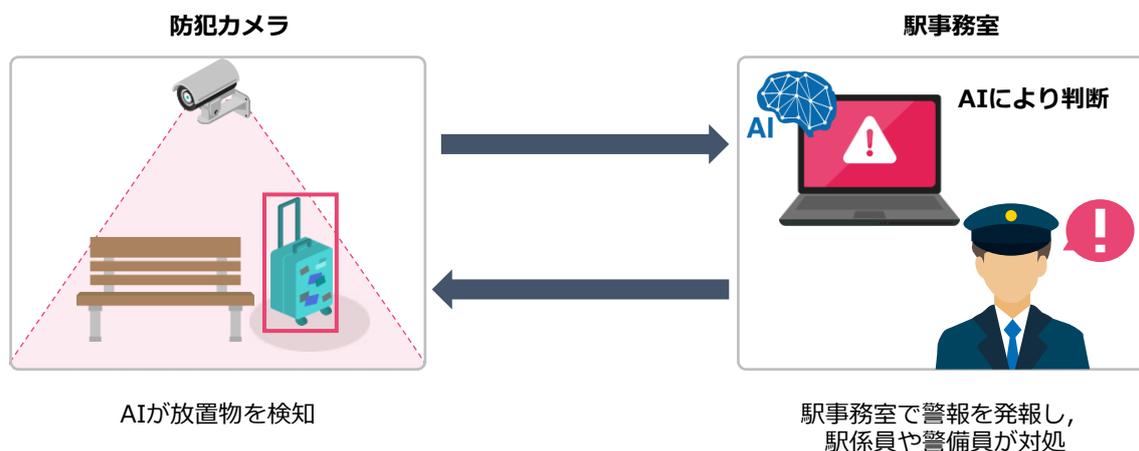
2020年8月5日

＜羽田空港第1・第2ターミナル駅におけるテロ防止対策＞  
**放置物を人工知能（AI）で自動検知するシステムを導入します**  
**2020年8月8日（土）から実証実験開始**

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）は，テロ防止対策のために，防災・防犯カメラの設置，京急電鉄職員やガードマンによる駅の巡回，ポスターや構内放送によるお客さまへの注意喚起，協力依頼をおこなっていますが，さらなる安全対策として，2020年8月8日（土）から羽田空港第1・第2ターミナル駅において，放置された物を人工知能（AI）で検知するシステム（アイテック阪急阪神株式会社製）を導入します。

このシステムは，AIと連動する防犯カメラが，さまざまな角度から撮影した映像をもとに，AIが形状や放置された時間などを読み取り，放置物か否かを判断します。検知した場合は，自動的に駅事務室で警報を発報し，必要に応じて駅係員や警備員が駆け付け対処し，危険物と判明すれば警察に通報します。

京急電鉄は「ソフトターゲット」を狙うテロ防止対策を引き続き実施し，安全安心に利用できる鉄道を目指して，今後もさまざまな対策をおこなってまいります。



AIによる放置物検知のイメージ